

プレスリリース [2019年4月26日]

(計2枚)

町田市がインドネシアのホストタウンに決定しました

内閣官房東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部が同大会に向けて推進している「ホストタウン構想」において、本日、第13次登録団体の公表が行われ、町田市がインドネシアのホストタウンとして新たに登録されました。市のホストタウンについては、2016年6月に登録された南アフリカ共和国に次いで2か国目となります。

今後も、事前キャンプ実施の支援を行うとともに、文化やスポーツを通じた相互交流事業を積極的に実施します。



2017年のインドネシアパラバドミントンチーム合宿受入れ時の写真

■ ホストタウン登録日

4月26日(金)

■ ホストタウン登録国

インドネシア

■ ホストタウン交流計画の概要

(1) 事前キャンプを通じたインドネシア代表選手団との交流

町田市は、インドネシア代表のパラバドミントン・空手・バドミントン競技の東京オリンピック・パラリンピック競技大会前の事前キャンプ地となっています。2020年は事

前キャンプ受入れ時に代表選手団と児童・生徒との交流を図るとともに、大会に出場するインドネシア選手の応援イベントなどの開催を予定しています。

2017年、2018年には、パラバドミントンインドネシア代表団と日本代表による合同合宿を市立総合体育館で開催し、市民に練習を公開したほか、市内小学校でインドネシア代表団との交流イベント等を実施しました。

なお、2019年には、パラバドミントン・空手競技の大会前1年前キャンプとして、日本で行う大会に合わせて町田市で合宿を行う予定です。

(2) インドネシアとの文化交流

2016年には、市立博物館にて、日本・インドネシア国交樹立60周年記念として駐日インドネシア大使館の後援を受けたインドネシアファッション展を開催しました。

2020年には、市立国際版画美術館にて、インドネシア人アーティストを招いた展覧会の開催を予定しています。

(3) 日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流

2017年から、市内小学校などでパラバドミントン代表選手を講師としたパラバドミントン体験会を実施しています。

今後も引き続き市内小学校での体験会を実施するとともに、町田ゆかりのアスリートを応援するためのイベントを実施するなど、日本人オリンピック・パラリンピアンとの交流イベント等を実施していきます。

■ インドネシアのホストタウンについて

町田市以外にインドネシアのホストタウンに登録されている自治体は以下のとおりです。

- ・秋田県横手市（2016年6月14日登録）・秋田県（2016年12月9日追加登録）
- ・熊本県（2016年1月26日登録）
- ・宮城県気仙沼市（復興ありがとうホストタウン、2018年7月27日登録）

※ 2017年のインドネシアパラバドミントンチーム合宿受入れ時の写真データを提供可能です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

文化スポーツ振興部オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課 課長 唐澤
TEL 042-724-4442